

分野：⑬SDGs

(生物と地球環境)

環境アドバイザー

神山 裕則

対象

川口市立 在家小学校 (74人)

所要時間



4時間

場所

教室

実施時期

令和3年2月26日

概要

SDGsについて

ボルネオと日本との関係(森林伐採・パームヤシ油など)

プログラムの

SDGsの狙い

ねらい

世界の地域と、日本人は、つながっていることを知る。
そして、できる活動を考えて、行動する。

プログラムの内容

1. 導入

⑬SDGsのことについて、大まかに知る。

ラオスの子どもの話(貧困・飢餓・教育など)

2. ボルネオと日本の関係

森林伐採・焼き畑農業・異常気象

パームヤシ畑・

私たちとの関係 木を輸入(オリンピック関連・

コンビニの商品の半分以上に、パームヤシ油が
入っていること。植物油としか書かれていない)

私が、していること

ラオスに、文具を届ける活動

ボルネオの土地を買って、植林活動の手助け

3. まとめ

自分ができること。→ 親に話す。友達と話す。エコな生活を送る。



受講者の反応

ここの児童は、よく質問を考えてくれた。オランウータンの性質・年齢・すみかなど。
地球を壊している人間の身勝手さを、指摘する子もいた。